

丸全昭和運輸労働組合 第 68 回定期大会

丸全昭和運輸労働組合は9月10日（土）13時～翌11日（日）に掛けて、月の栖 熱海聚楽ホテル（静岡県熱海市）において第68回中央定期大会を開催。

初日、来賓として運輸労連本部より世永中央副執行委員長、神奈川県連より亀崎執行委員長・高橋書記長・望月書記次長、県連組織内議員の織田川崎市議会議員、労働福祉団体より中央労働金庫横浜支店 小林支店長、全労済神奈川本部 児玉課長、(株)エル・ビー・エー 山本社長にお越し頂き、御挨拶ならびに激励の御言葉を頂戴致しました。



運輸労連 世永副執行委員長



神奈川県連 亀崎執行委員長



尾池中央執行委員長

尾池中央執行委員長は冒頭「賃金・労働環境面で一定の前進が図られたが、人手不足、長時間勤務の傾向は悪化しており、会社に対応を強く求めていく。それ以外の課題も含めて、改善が出来る様、取組みを進めたい」と挨拶。その後、萩原中央書記長から一般経過報告と第1号議案を、第2号議案から第7号議案までは、担当執行委員が提案を行いました。続いて、各項目に対して投票を行い、執行部

提案7議案、全て承認可決致しました。

なお、今期は役員改選期にあたり、三役は再任、中央執行委員は12名中7名、中央会計監査は、2名中1名が交代となりました。大会の最後は、スローガン確認後、団結ガンバローで閉幕となりました。



丸全昭和運輸労働組合は新体制のもと第68期がスタート致しました。不慣れなこともあり至らぬ点が多々あるかと思いますが、神奈川県連、友好単組の皆様には、ご指導ご鞭撻のほど、よろしく願いいたします。

中央書記長 萩原和彦